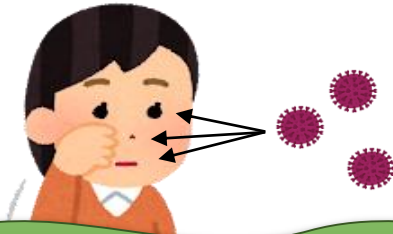


新型コロナウイルス感染症の予防について 学校版

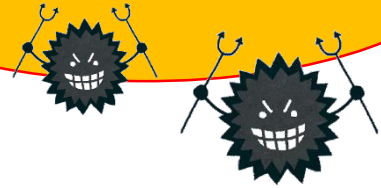
1. 新型コロナウイルスの感染経路

新型コロナウイルスを含む飛沫又はエアロゾル(更に小さな水分を含んだ状態の粒子)を吸入するか、ウイルスが目や鼻、口に直接的に接触することにより感染します。



1時間に平均**23回**無意識に顔を触っていると
言われています
そのうち目、鼻、口の粘膜は**44%**を占めています

新型コロナウイルスは**72時間**
感染力をもって生き残ります！



マスク着用と消毒が大切です

2. 感染拡大の予防を！

濃厚接触者の定義

1m以内、マスク等感染対策なしで
15分以上の接触



飛沫は会話で1m、咳で3m、くしゃみで5m飛びます

濃厚接触者は、最終接触日を0日として5日間は、他者との接触を避ける必要があります。

感染リスクが高い場面

- 会話をしながらの飲食
- 体育の授業で接触のある競技
- 部活動や部室・更衣室で長時間の会話
- 文化祭や体育大会等の大人数が集まる行事
- 相談室等の不十分な換気での空間
- 学校の寮やスクールバスの環境
- 音楽の授業での合唱、リコーダーの実施



多く見られたリスクの高い場面3選

- ① 黙食が徹底できていなかった
- ② 部活の合宿・遠征や行事の準備などで集まる
- ③ 学校外での交友、友人宅でのお泊り会などで集まる



3. 授業中・休み時間・登下校時もマスクは正しく着用を！

・隙間がないように密着させ、鼻・顎がしっかりおおわれるように着用しましょう

※鼻マスク・顎マスクは感染症対策として効果がありません

○マスクの種類別効果○（飛沫のカット量）

種類	不織布	布	ウレタン	フェイスシールド	マウスシールド
吐き出し	80%	66～82%	50%	20%	10%
吸い込み	70%	30～45%	30～40%	効果なし	



4. 正しい消毒方法を実施しましょう

○1回量の消毒液を手に擦り込むように使用しましょう

NG：手を振り乾燥させると効果がありません



○消毒場所と頻度

手指：登下校、移動教室、昼食、トイレの前後
モノ：教員や生徒がよく触れる場所はこまめに消毒をしましょう
※スプレーで吹きかけるだけでなく、ふき取りも行いましょう（消毒する場所の例）

パーテーション ドアノブ 手すり
電気のスイッチ 机 など



厚生労働省

消毒液の作り方 参考ホームページ

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000645359.pdf>

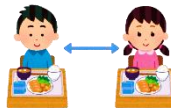


5. 日ごろの感染対策のまとめ

日頃の感染対策

登校前には体調確認を！

- ・鼻まで覆い、隙間のない様マスク着用する！
- ・できるだけ2m、最低1mの距離をとる！
- ・食事の時は一方向で黙食を徹底！マスクをつけて会話を！



手洗い・消毒(ex. 飲食前、登下校、移動教室)

- ・1時間に2回の換気をしましょう！
- ・学校外でも同様の感染対策をしましょう



体調がすぐれない時には無理に登校せず病院を受診しましょう

- 37.5℃以上の発熱
- のど痛みや違和感
- 頭痛や筋肉痛がある
- 咳や痰がでている
- 体がだるい
- においや味が感じにくい
- 食欲がない・腹痛
- 普段と違う体の変化がある

一つでも当てはまればすぐ受診！



飛沫等の「富岳」による研究動画
理化学研究所 計算科学研究センター

<https://www.r-ccs.riken.jp/fugaku/history/corona/projects/tsubokura/>

飛沫がみえる！



大阪市新型コロナウイルス感染症一般相談センター（0120-911-585）

大阪市保健所 感染症対策課 集団調査チーム

令和4年7月作成